

沖縄・八重山諸島
〔西表石垣国立公園〕

カヤマ島

無人

教育旅行のご案内

KAYAMA IS

知る



体験

感動

思い出



南海の小さな無人島で 太陽の光や、海、星空に浸る体験

楽しいカヤマ島の旅を……



無人島のカヤマ島は 自然と触れ合う体験アイランド



自分が歩いてきたところだけに足跡がある砂浜、波打ち際の岩礁に挟まれた小さな水路の透き通った海の水、地球の中がどうなっているのかが見える断層、砂浜に残されたオカヤドカリたちのおびただしい足跡、ほとんど絶滅危惧種になってしまったヤシガニたちの食跡の発見、街の光に干渉されない星空の雄大さ、マリポイント「お魚畑」で生活している美しい熱帯魚たちとのたわむれ、などなど。現代人の日常生活ではすでに失ってしまった自然からの贈り物が、この小さな島には詰まっています。仕草が可愛いウサギも数多く暮らしています。

この島での原始的で不便な経験が、自然と人間の触れ合い方はどうあるべきかを気付かせてくれるはずです。

 カヤマ島



カヤマ島



無人島カヤマ島で
キャンプやシュノーケリング!
南国の自然を体験



こんなほのぼのとしたシーンにも出会えるかも。

八重山には猛毒を持つ蛇、ハブがいる島がありますが、カヤマ島には生息していません。安心してアウトドアライフを楽しむことができます。



マリン体験&ビーチコーミング・キャンプでアクティビティな一日を…

●カヤマ島教育旅行 6つの特徴

初めてのマリン体験に最適の海

日本最大のサンゴ礁海域「石西礁湖」にあるマリンポイント「お魚畑」は水深が1~3mの穏やかな海で、サンゴ礁が発達しています。初めてのマリン体験でも、無理なく海中の楽園をのぞき見することができます。



安全第一の充実したマリン講習

世界最大のダイビング教育団体PADIの基準に沿った講習を、足がつく浅い海でじっくり行います。主な講習内容は次の通り。
 (1) 海水に慣れること。
 (2) 器材の特性や扱い方の習得。
 (3) 海の中で自分の体を思い通りに動かす経験を通じての、生涯にわたる技術の習得。



悪天候による影響が少ないフィールド

カヤマ島は、サンゴ礁が造る天然の防波堤(リーフエッジ)に囲まれているので、外洋が荒れている時でも礁湖(ラグーン)は比較的穏やかな海のままです。またマリン体験は、カヤマ島からすぐ近くのポイントで行いますので、万一のトラブルが発生しても迅速な対応をとることができます。



異常気象がサンゴ礁に与える影響を実感する環境学習

マリン体験の事前学習として、参加者が宿泊するホテルでインストラクターがカヤマ島の自然とサンゴ礁の紹介をすることができます(ただし、川平などの郊外地区のホテルなどは除きます)。またマリン体験の現場では、生きているサンゴと地球温暖化による海水温の上昇によって白化したサンゴの両方を見て、日常生活の中では決して体験することができない、失われゆく海中の自然について学んでいただけます。



1島1校での貸し切りによる開放感

修学旅行などでの受け入れでは、カヤマ島全体を1校による貸し切りとします。他のお客様とのトラブルや貴重品の管理などの心配がありません。
 ★ただし、貸し切りは生徒40名以上参加の場合に限ります。



インフラが整備されていない不便な環境の体験

現代社会の日常生活では当然備わっている、上下水道、電気、ガス、道路、病院といった設備が整っていません。無人島ならではのワイルドで不自由な一日を過ごし、水が簡単に手に入る現実の生活での便利な暮らしについて考えていただけます。



●各コース内容



シュノーケルコース (約8時間)

(最大200名/1日)

【料金に含まれるもの】

- 石垣発着往復船代 ■シュノーケルセット ■講習
- ビーチコーミング ■ランチ(カレーライス)
- ウエットスーツ ■マリンブーツ ■保険



体験ダイビングコース (約8時間)

(最大100名/1日)

【料金に含まれるもの】

- 石垣発着往復船代 ■シュノーケルセット ■ダイビング器材
- 講習 ■ビーチコーミング ■ランチ(カレーライス)
- ウエットスーツ ■マリンブーツ ■保険



キャンプコース (約24時間)

(最大150名/1日)

【料金に含まれるもの】

- 石垣発着往復船代 ■ランチ(カレーライス)
- 夕食(バーベキュー) ■朝食(軽食)
- マリンブーツ ■星空観察 ■小浜民謡 ■保険



カヤマ島モデルタイムスケジュール

日帰りコース

- 10:00 カヤマ島到着
- 10:10 器材レンタル
- 10:30 マリン体験
- 13:00 昼食
- 14:00 ビーチコーミング
- 16:00 カヤマ島出発

キャンプコース

- 1日目
 - 10:00 カヤマ島到着
 - 10:10 器材レンタル
 - 10:30 マリン体験
 - 13:00 昼食
 - 14:00 ビーチコーミング
 - 16:00 テント設営
 - 17:00 夕食
 - 19:30 小浜民謡
 - 20:00 星空観察
 - 22:00 就寝
- 2日目
 - 06:30 起床
 - 07:00 朝食
 - 08:00 カヤマ島出発

●カヤマ島の設備



■オープンテラス

島の空気を体全体で感じられる屋外のテーブル&ベンチを120席用意しております。食事や語らいなどにも極上の空間です。

■レストハウス

天気が悪い時などに利用できる屋内の施設もあります。80席のキャパシティがあります。

■更衣室

テントを利用した簡易更衣室が全部で4室あります。

■シャワー・トイレ

男女別の水洗トイレを完備しています

●カヤマ島へのアクセス



●シャトルボートは参加人数に応じて1~5隻の船を利用いたします。
 ●潮の干満により、若干時間が変動する場合がございます。
 ●石垣島の発着時刻は、ご希望の時間で調整いたします。

カヤマ島の水事情

この島には上下水道が整備されていません。飲み水は小浜島から運んでいます。マリン体験の後の、体やマリン器材を洗う水は別に用意してあります。島の自然環境に負荷を与えないために、シャンプーや石鹸の利用はご遠慮ください。島に湧き水が出ている場所がありますが、その量はわずかであり、使うことはできません。



●予約の取り消しについて

学校・生徒の都合で予約の取り消しをする場合、下記の取り消し料をお支払いいただきます。
 取り消しの連絡は、営業時間/08:00~18:00(年中無休)内にお願いいたします。

参加人数の1/3以上の取消

取消日	旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	旅行開始日
21日前まで	20~8日前まで	前日 当日
取消料	無料 旅行代の20% 旅行代の30%	旅行代の50% 旅行代の100%

参加人数の1/3以下の取消

取消日	旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	旅行開始日
2日前まで		前日 当日
取消料	無料	旅行代の50% 旅行代の100%

修学旅行安全チャート

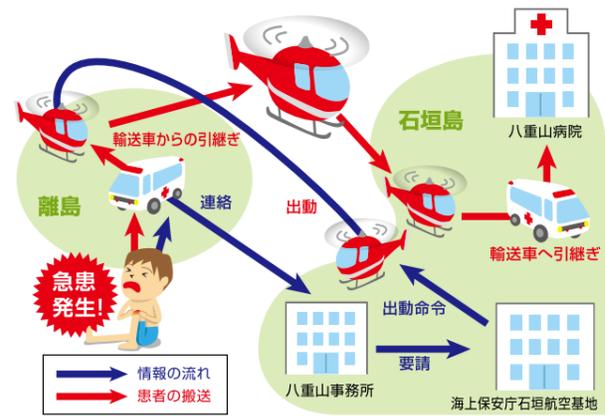
マリン運営カイロ

- ダイビングヘッドスタッフ
- 船舶スタッフ
- シュノーケルスタッフ
- ビーチ管理スタッフ
- 昼食スタッフ

修学旅行インフォメーション (三和トラベル) ☎0980-82-6475

カヤマ島緊急連絡票

- 八重山病院 ☎0980-83-2525
- 小浜診療所 ☎0980-85-3247
- 石垣海上保安部 ☎0980-82-4851
- 八重山警察署 ☎0980-82-0110
- 南の美ら花ホテルミヤヒラ ☎0980-82-6111



自然が織り成す仕組み。自分で見つける感動。

亜熱帯海洋性気候帯にある八重山諸島の島々は、それぞれの島に独特の自然環境や民俗・文化があり、それに気がついた人々にはとても興味深い世界を提供してくれます。海の中でも陸の上でも、本土では到底見られない自然の仕組みや人々の知恵が満載です。しかも国の特別天然記念物が家の庭で歩いている、といった身近さも同居しています。ここでは、カヤマ島を中心にした自然の面白さについてご紹介しましょう。



ミスゴ

絶滅危惧種のコロニーがある島

日本野鳥の会 石垣島支部
事務局長/小林 孝

コアジサシという、ナワバリ意識が非常に強い野鳥が、夏の間、カヤマ島の砂浜に営巣し、繁殖行動を起こします。卵はともうまく擬態していて、砂浜のどこかに置かれていますが、それを見つけ出すのはほぼ不可能なほど、卵の模様は周囲の景色に溶け込んでいます。数十羽、時には千羽に及ぶ群れがコロニー（集団）を作り、群れ全体で卵や雛を外敵から守ります。その守り方が大変に強烈です。「ここから先は人間は入ってくるな」というエリアに私たちが足を踏み込んでしまった時、こちらの頭上に数羽の先兵コアジサシが鋭い威嚇の声をあげながらやってきて、頭すれすれのところまで急降下してきます。時にはくちばしが頭に当たることさえあります。怪我をする可能性を秘めた、捨て身の攻撃なのです。もしそういう場面に出

会ったら、そこはもう彼らのサンクチュアリであり、私たちが踏み込んではいけない場所だということを知るでしょう。

このように外敵に対して非常に神経質な鳥ですから、外からの干渉が極端に少ない場所を営巣地を選ぶのでしよう。しかし、世界中の沿岸や川原、中州の埋め立てや開発などで彼らが利用できる自然の営巣地が減っているため、環境省の日本版レッドリストでは「絶滅危惧Ⅱ類」に指定されてしまいました。カヤマ島には、その絶滅危惧種のコアジサシが選ぶ営巣地が残されているわけです。

カヤマ島の留鳥の代表種は、イシガキヒヨドリ、オサハシトガラス、セッカ、メジロです。越冬する冬鳥としては、メダイチドリ、シロチドリなどのシギ・チドリ類が挙げられます。ミスゴやクロサギなどの海鳥にも出会えます。



クマノミ



地球と生き物が作り出した海岸

WWFサンゴ礁保護研究センター
センター長/鈴木倫太郎 博士(地理学)

カヤマ島は、日本で最大のサンゴ礁である石西礁湖の北端に位置する島です。石西礁湖は、造礁サンゴなどの生物が作り上げた地形です。この石西礁湖の中では、400種類を超えるサンゴが棲んでいるといわれています。サンゴは動物ですが、体の中に共生している褐虫藻が光合成によって作り出す栄養をもらって生きています。光が必要なサンゴは、浅くて暖かい海が絶好の生息場所です。この石西礁湖は、石垣島と西表島に挟まれた浅い海域が続く、サンゴが棲みやすい海域なのです。このサンゴ礁の海は、私たちの生活に食料や観光資源など、様々な生態系サービスを与えているのです。

カヤマ島の周囲を歩くと、白い砂浜が続いています。この白い砂は、サンゴ礁の中で生きていたサンゴの骨や貝殻、



ビーチロック : ©WWF Japan / Rintaro Suzuki

「星砂」と呼ばれる有孔虫が堆積したものです。サンゴ礁の島々の砂浜は、骨や貝殻などの白い生き物の死骸が堆積しているので白色なのです。また、桟橋近くの波打ち際に注目してみましょう。波打ち際には黒い板状の岩が、長く続いています。この岩は、一見普通の岩に見えますが、火山などで出来る他の岩と少し特徴が違います。岩の割れ目を良く見てみると、小さな砂がびっしりと詰まっている様子が分かります。さらに良く見てみると、砂に閉じ込められているシャコガイやタカセガイなどの大きな貝殻やサンゴを見つけることができます。これは「ビーチロック」と呼ばれる岩で、沖縄では「板干瀬（いた



閉じ込められたシャコガイ : ©WWF Japan / Rintaro Suzuki



閉じ込められたタカセガイ : ©WWF Japan / Rintaro Suzuki

びし」と呼ばれています。この岩の出来方については、場所によっても異なりますが、海水の蒸発や微生物の力で砂の粒子同士が結びつく作用によるものと考えられています。波打ち際の砂がそのまま固まって出来るため、「砂浜の化石」とも呼ばれています。八重山の島々では、多くの海岸で見ることができました。しかし、このビーチロックは、板状にはがれやすくて加工しやすい材料、コンクリートが無い時代には、家の建材や塀の材料に使われてきました。また、海岸の埋め立てや防波堤の建設によってビーチロックが見られる海岸は少なくなりました。この

カヤマ島では、砂浜で作られたビーチロックが、手着かずのそのままの姿で残っています。これは八重山諸島の他の島ではなかなか見ることができない光景です。このビーチロックは、カヤマ島が無人島であるからこそ、ビーチロックが作られた状態で残ることができたのです。



ソテツ

離島航路脇の無人島 カヤマ島

元 石垣市文化財審議委員
前津 栄信

カヤマ島は、小浜島の北約1.5kmで、標高19mの小さな無人島である。島は小さく低い島であり、植物数は少なく、草本類19種、木本類27種を確認した。

1. 植物の分布状況

海岸域では、砂浜をハマゴウが覆い、砂の流失を防ぐ群落となっている。その背後には、少々高いアダンやテリハクサトベラなどの潮風に強い樹木が



ハマゴウ



テリハクサトベラ



郡生するススキ、チガヤ

あり、マント群落となっている。北側の海辺は崖で、上にはコウライシバやシオカゼテンツキ、ソナレムグラ等がある。

2. カヤマ島の植物分布の特異性

島の周辺域の植物は、潮風に強い植物が分布し、他の島と似ているが、周辺のすそ群落、その背後のマント群落、そしてその背後内陸部は、高木相ではなくチガヤやススキの草原になっているのは特異である。

3. 潮風から実を守る海辺の植物

島を取り巻く海辺の植物は、常に潮風に吹かれていて、台風時には海水をかぶるが、枯れることなく生育しているのはどうしてだろうか？

田畑で栽培されている植物は、台風時に海水の飛沫をあびたり、海水をかぶると枯れてしまうのに、海辺のアダンやテリハクサトベラなどは、海水をかぶっても枯れずに生育しているのは、不思議である。

海辺の植物の葉は、つやがあつて、テ



アダンの実



ボタンニンジン(長命草)



ハンジロウ(グワバ)



ハマオモトの花

カテカと光り反射している。それはクチクラという堅い膜で覆われているからである。クチクラは、生物のからだを保護する働きをもつもので、クチンや蠟からできている。潮風に強い海岸植物がいろいろあるので見つけたら、チェックしてみましょう。



ヤエヤマラセイタンソウ



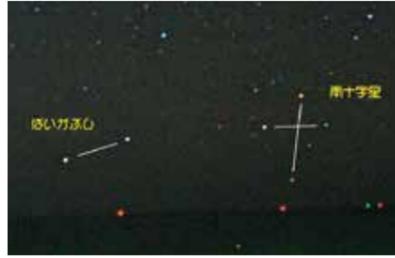
ヤエヤマアオキの実



夏の天の川(ていんがーら)



冬の星座



南十字星とばいがぶし

宇宙に浮かぶ島

前 石垣島天文台長/宮地 竹史

カヤマ島は、美しいサンゴ礁が広がる石西礁湖の真ん中にあり、平らで丸い小さな月のような島ですが、ほんとうに月のウサギのようなウサギがすんでいます。

八重山諸島は星々が日本一美しく、日本一たくさん見える地域で、月や星を謡った古謡も多く、お月さまも「月の美しいのは十三夜、娘の美しいのは十七歳」と「月ぬ美しゃ」で謡われています。星の名前も島独特の呼び方が残っている星文化の島です。

四方が開け、星空がプラネタリウムのように見えるカヤマ島の星空はすばらしく、春には南十字星の4つの星や、ケンタウルス座のα、β星(島では「ばいがぶし(南の星)」とよぶ)が、夏には天の川(ていんがーら)が南の海から北の海へと夜空を流れ、さそり座は空に昇る竜のように、秋にはアケルナルが見えます。

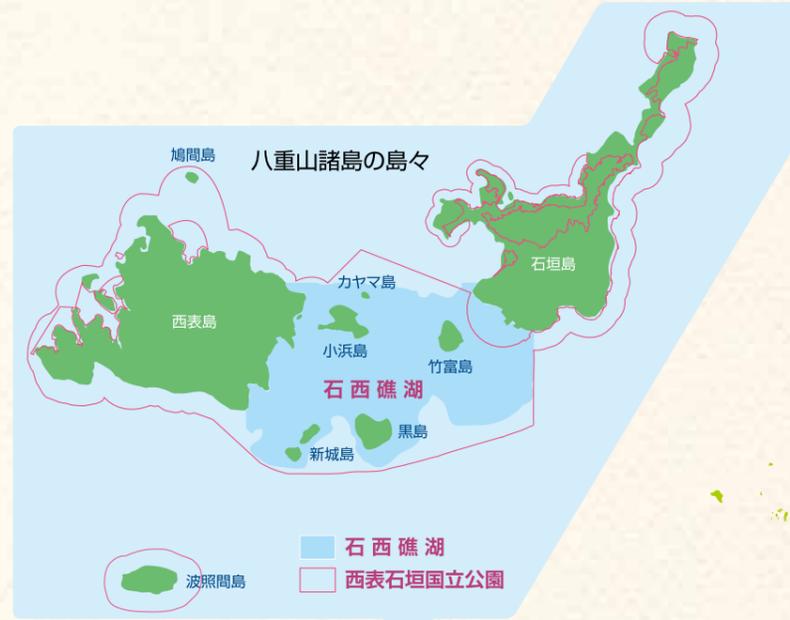
冬の南の空には、この星を見ると長生きをするといわれるカノーブス(南極老人星)が水平線高く見え、冬の大三角、オリオン座、おうし座、昴(むりかぶし)が輝いています。北の空では、北極星(にぬふあぶし)や、北斗七星(ふなぶし)が見られます。

八重山諸島は北緯24度にあり、本州では16個しか見えない一等星が21個すべて(88個の星座は84個)見られ、カヤマ島は宇宙に浮かぶ島のような島です。

美しいサンゴ礁の海に浮かぶお盆のようなカヤマ島、満月の夜は、うさぎたちと月明かりの浜を楽しむのも良いでしょう。

壮大なプロジェクトの要にある琉球弧

ユネスコの世界自然遺産登録に向かって……



琉球弧、琉球列島、あるいは南西諸島など、呼び方が色々ある、九州南端から日本の最西端まで繋がる島々の中に、八重山諸島があります。この地域は、日本本土とは気候区分が異なり、南方特有の自然環境が残されています。その自然環境が国内では特に重要で貴重だということで、沖縄がそれまでのア

メリカ政府による統治から解放され日本に復帰した年(1972年)に、西表島が部分的に国立公園に指定されました。その後、何度もその指定内容が増えてゆき、2007年には石垣島も部分的に編入され、「西表石垣国立公園」に拡大されました。さらにその後も、国立公園の指定地域の変更(つまりは拡大)が行われた後、2016年にはいよいよ西表島のほとんどが国立公園とされた上、石垣島の指定地域も拡大されました。環境省としては、この地域の自然環境が日本でも極めて貴重かつ重要であると判断しているからこそそのアクションだと考えられます。

それと併行して、沖縄本島北部の、これまで原始の自然環境が色濃く残るやんばる地域も、2016年に国立公園として指定されました。それだけではありません。鹿児島県の奄美群島も2017年に国立公園に指定されたのです。

これで、琉球弧にある奄美大島とその周辺の奄美群島、沖縄本島のやんばる地域、八重山の西表島と石垣島が国立公園として繋がりました。何とかしてこの島々の自然環境を後世に残さなければならないという重要な地域だからこそその決定だと見なすべきですし、奄美群島から南の島々を、ユネスコの世界自然遺産に登録するための力強い基盤が出来たということでもあります。

壮大な自然環境保全のプロジェクトが歩みを進めています。カヤマ島はその壮大なプロジェクトの中の、小さな無人島としての存在で異彩を放っています。この島を訪れ、みずみずしい感性でとらえた経験は、その後の人生にとってきっと重要な意義をもつことでしょう。

八重山の自然を知り尽くした 私たちがカヤマ島をご案内します。

西表石垣国立公園の中に位置するカヤマ島は周囲 2.5km 標高 19m の小さな無人島で透き通る青い海や満天の星が人々の心癒してくれます。この無人島でしか味わえない体験をぜひ、お楽しみください。



カヤマ島観光開発(株) 代表取締役社長 親 盛 一 功



石垣島の中心地。ここちよく過ごせる、ひとときを…… 石垣港離島ターミナルまで徒歩1分



美崎館(ツイン)



ホテルから眺める石垣港離島ターミナル



東館(ツイン)



フロント



売店



スイミングプール



コインランドリー

多彩なメニューで「味わいも旅の楽しみ」



西館(ツイントリプル可)



ロビー



イメージ画像です。 宴会場(桧橋の間)



※写真はイメージです。

教育旅行夕食料理メニュー

夕食 Aプラン

- 帆立貝&海老フライ
- 照り焼きチキン
- スパゲッティーミートソース
- 季節のサラダ
- グルクンの塩焼き
- 野菜チャンプルー
- 白御飯
- ワカメスープ
- デザート

夕食 Bプラン

- ハンバーグステーキ
- シーフードマカロニグラタン
- フライドチキンサラダ添え
- 島豆腐と野菜のごった煮
- アーサともずくの蒲鉾
- あんかけ五日焼そば
- 山菜御飯
- 豚汁
- デザート

夕食 Cプラン

- チキンカツ
- ローストポーク(ポルネシヤン風)
- アーサ入りシーフードスパゲッティー
- 島青パパイヤと長命草のサラダ
- 鮭チャンプルー
- 白身魚のあんかけ
- 八重山じゅーしー(沖縄風五日御飯)
- クリームコーンスープ
- デザート

夕食 Dプラン

- 豚肉とキャベツの炒め
- トンカツ
- チキンモモ肉のソテー温野菜添え
- パスタサラダ
- 島豆腐のチャンプルー
- サワラの照り焼き
- 白御飯
- 八重山椀子そば
- デザート

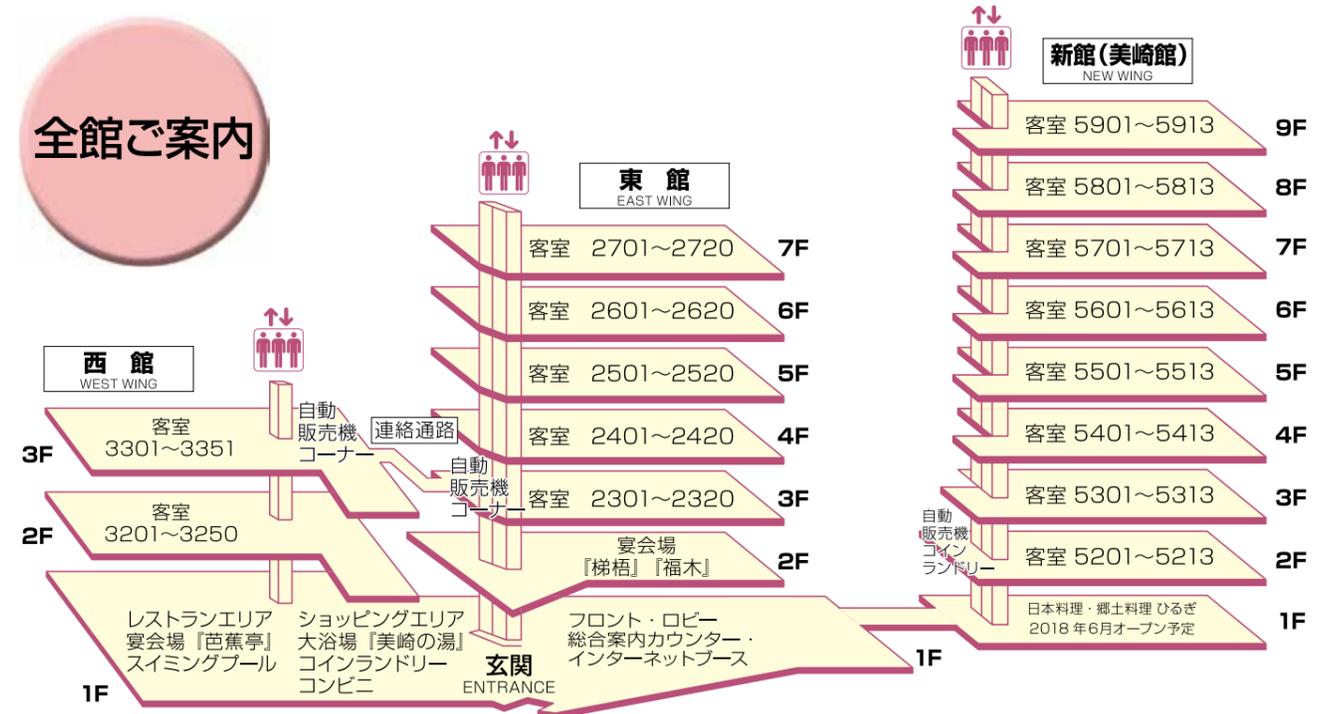


西館(フォース)

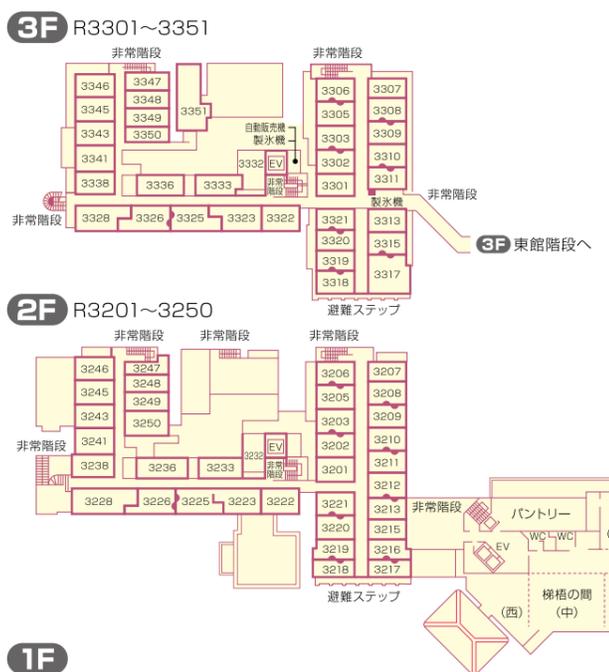


美崎の湯(大浴場)

全館ご案内



西館

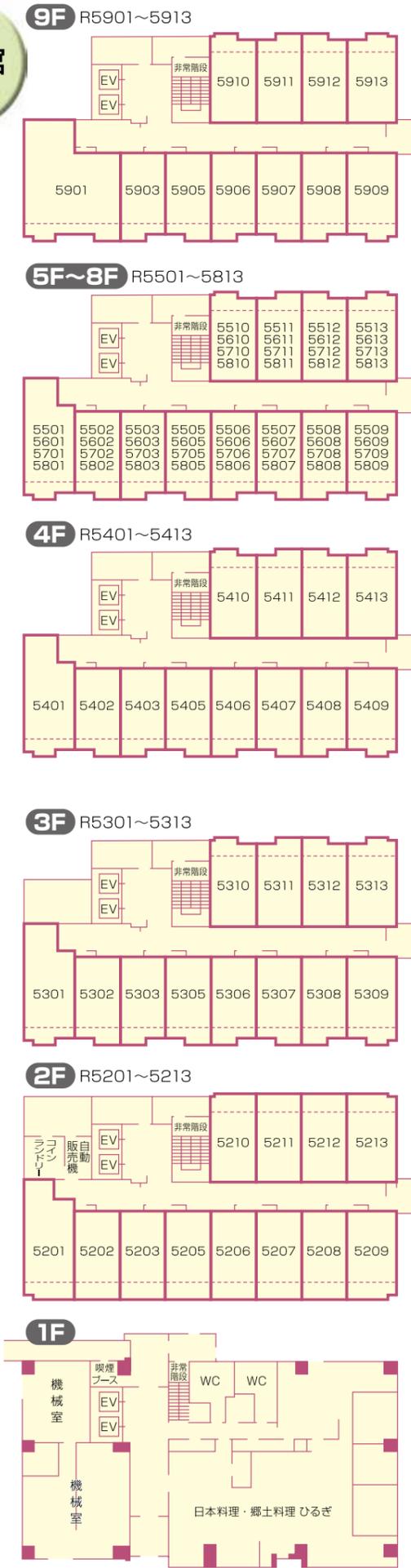


東館



美崎館

2018年6月 開業予定



●ホテル概要(南の美ら花 ホテルミヤヒラ)

客室数	美崎館 95室 東館 87室 西館 71室 (合計/253室 収容人数最大/572名)
宴会場	朝食会場 2階梯梧の間又は1階レストラン(和・洋バイキング) 夕食会場 2階梯梧の間又はレストラン(円卓料理又はバイキング)
ルームセット	バスタオル・フェイスタオル・バスマット・レディーズセット ボディソープ・シャンプー・リンス・歯磨きセット・ハンドウォッシュ
大浴場	1階美崎の湯(使用可)
打合せ	到着時の先生と生徒の打合せ場所(フロントロビー)
エレベーター	9~13名乗り5基 生徒の使用可
館内放送	フロントより館内の放送は不可
貴重品	各部屋に保管庫があります
売店	おみやげ品店・コンビニあり 営業 06:30~21:30
自動販売機	1・2・3階自動販売機コーナー(販売停止不可)
テレビ	地上波、衛星放送
冷蔵庫	各部屋にあります(ロック不可)
緊急避難所	ホテル正面玄関(公園)
防災設備	火災報知器 非常時放送設備 懐中電灯 煙感知器 非常ベル 誘導標識 非常電灯 屋内消化栓 誘導灯 非常時電源設備 消化器 避難梯子 避難経路案内図 防火扉 AED
関係機関	ホテル指定区 八重山病院 TEL.0980-83-2525 ホテルより車で10分 〒907-0022 石垣市大川732 健康保険証のコピーで受診可能 救急病院 同上 健康保険証のコピーで受診可能 但し旅行会社より事前に連絡 消防署 石垣消防署 TEL.0980-82-0119 〒907-0002 石垣市真栄里668 警察署 八重山警察署 TEL.0980-82-0110 〒907-0004 石垣市登野城894-1 保健所 八重山保健所 TEL.0980-82-3240 〒907-0002 石垣市真栄里438
保険関係	保険会社名 東京海上火災保険会社 内容→旅館賠償責任保険・宿泊客個人賠償責任保険 施設事故(人身)→1名につき7千万円 (物損)→1名につき1億円 生産物事故(人身)→1名につき7千万円 (物損)→1名につき70万円
衛生関係	食品衛生許可番号 第200500685号



最近3年実績

H27年	H28年	H29年
大阪高等学校	兵庫県立星陵高等学校	長尾高等学校
潤徳女子高等学校	大阪高等学校	慶應義塾高等学校
慶應義塾高等学校	慶應義塾高等学校	大阪高等学校
関西大学第一中学校	潤徳女子高等学校	潤徳女子高等学校
立教新座中学校	京都産業大学附属高等学校	立教新座中学校
大阪星光学院高等学校	関西大学第一中学校	中央大学高等学校
履正社高等学校	立教新座中学校	桃山学院高等学校
女子聖学院高等学校	履正社高等学校	履正社高等学校
大阪教育大学附属高等学校	日本大学第二高等学校	日本大学第二高等学校
日本大学第二高等学校	大阪府立八尾高等学校	麻布高等学校様
花園高等学校	大阪女子短期大学高等学校	大阪緑涼高等学校
関西大倉高等学校	箕面自由学園高等学校	大阪府立高石高等学校
長田高等学校	関西大倉高等学校	大阪府立春日丘高等学校
有馬高等学校	大阪府立池田高等学校	関西大倉高等学校
八幡高等学校	大阪府立春日丘高等学校	みどり清朋高等学校
京都農芸高等学校	交野高等学校	正智深谷高等学校
神戸高等学校	正智深谷高等学校	
大阪府立山田高等学校		

カヤマ島に上陸するための心得

●持ち込まない、持ち帰る

カヤマ島はキジヤクジャク、あるいはタチアワユキセンダングサといった外来生物(植物)の侵入が無い、島本来の姿が色濃く残っているところです。その魅力を壊さないために、この島への不注意なモノの持ち込みは厳禁です。またゴミ処理施設が無い島です。外から持ち込んだゴミは必ず持ち帰りましょう。分からないことがあればスタッフに尋ねてください。

●夏と冬では大違い

夏はとにかく暑く、陽射しは強烈です。熱中症には充分気をつけてください。こまめな水分の補給は、自分の身の安全を守るためにも必須です。暑さで疲れたと感じたり、気分が悪くなったら、スタッフに伝えてください。また日焼け止めなどの対処も大切です。冬は北からの季節風が強く吹き、意外なほど寒く感じられます。季節風が体温を奪ってゆきますから、南の島といえども防寒具の準備は必要です。ただし、冬でも晴れた日には、充分に日焼けします。

●天然記念物、絶滅危惧種

島にはヤシガニが生息しています。絶滅危惧Ⅱ類です。むやみに捕獲しないでください。ヤシガニのハサミはとても強力なので、手を出すとは危険です。夜行性ですから、夜の散歩では用心してください。オカヤドカリは国の天然記念物です。天然記念物には触ることさえ許されないという厳しい規則があります。自然環境を保全するためには、さまざまな守るべきルールがあることを、カヤマ島で学んでください。

●海では安全第一が絶対条件

マリ体験は、充分に安全な環境の中で行いますが、それでも油断してはいけません。例えば深さが膝ぐらいしかない浅い海でも事故が起こることはしばしばあります。海に入って怖いと感じたら、無理をしないでください。海に慣れていない人が不安を覚えることはよくあることです。この場合も、スタッフに正直に伝えてください。



2018年6月 新館(美崎館)開業予定 完成イメージ図 南の美ら花ホテルミヤヒラ全景 石垣港から望む

